

日本実務教育学会

The Japan Society for Professional Education Research

第5回大会プログラム (4月 第一報)

2025年6月22日(日)

名古屋市立大学

日本実務教育学会第5回大会実行委員会

日本実務教育学会第5回大会の開催にあたって

青葉の候、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日本実務教育学会 第5回学術大会を2025年6月22日（日）に名古屋市立大学桜山(川澄)キャンパスにて開催いたします。今大会は、昨年度に引き続き対面形式にて実施し、新たに分科会を加えました。これは、学会として、実務教育・実務家教員に関する取り組みを幅広く啓蒙し、学会の発展に繋げることを目的としています。

また、本学会大会では、自由研究発表以外にも基調講演やシンポジウムがおこなわれます。大会テーマは『進化型実務教育・実務家教員—社会変革・創造の担い手として期待される実務家教員等は、どのような存在なのか。これから先、求められる実夢教育とは何か—』として、シンポジウム・自由研究発表などを行います。自由研究発表の各報告のタイトルと内容、シンポジウムの趣旨につきましては大会プログラムをご参照下さい。

会員の皆さまの研究推進に寄与できるよう大会運営に全力を尽くす所存でございます。大会実行委員一同、多くのご参加を心よりお待ちしております。

第5回大会実行委員会委員長
今永 典秀
(名古屋産業大学
現代ビジネス学部
経営専門職学科)

大会案内

1. 大会日程

- 2024年6月22日(日)

2. 実施スケジュール【すべて対面形式】

- 9時30分～ 受付開始
- 10時00分～12時00分 自由研究発表 会場1-3
- 12時00分～13時00分 昼休憩(ポスター発表)
- 13時00分～13時30分(30分) 総会
- 13時30分～14時00分(30分) 表彰式

【休憩15分】

- 14時15分～15時00分(45分) 分科会

【休憩15分】

- 15時15分～16時30分(75分) シンポジウム

<テーマ>進化型実務家教員とは

実務家から、実務家教員として大学の世界に入って、どのように教育・研究・実務の点で、研鑽を重ねて、活躍するに至っているのか。

<シンポジスト> 松林康博 先生(名古屋産業大学)、市川大祐 先生(岐阜協立大学)

<進行> 宮原知沙

- 16時30分～16時45分(15分) 新会長挨拶
- 16時45分 閉会
- 18時00分～ 懇親会

3. 大会参加方法

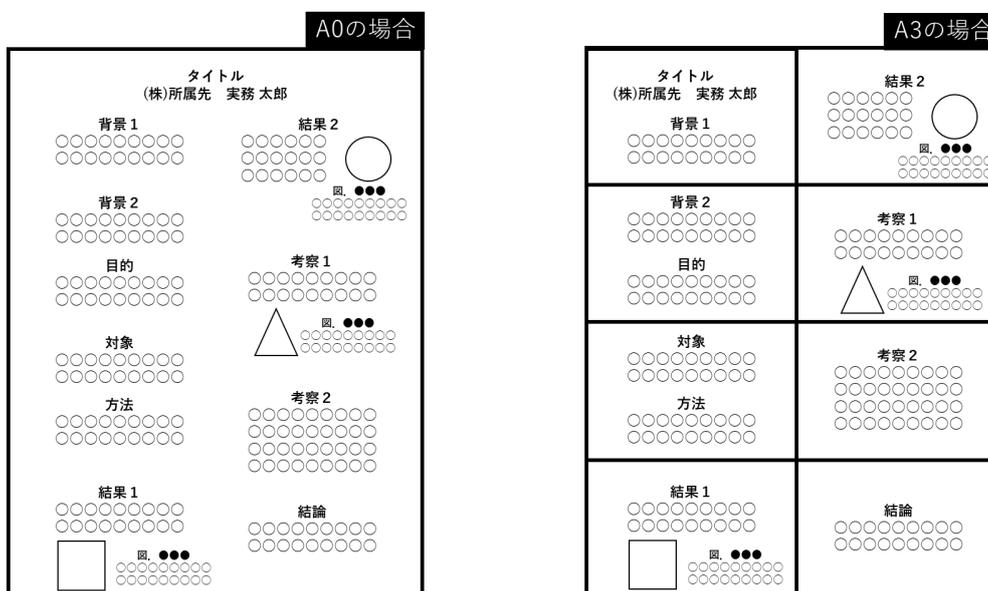
- 大会への参加をご希望される方は下記 URL よりお申し込みください。

<https://jsper.coep.jp/convention/>

- 大会に参加される方は、以下に記載の金額を 6月11日(金)までにお支払いください。
 - 会員(正会員・仮会員)、かつ大会当日の**懇親会に参加をされる方** 9,000円
 - 会員(正会員・仮会員)、かつ大会当日の**懇親会に参加をしない方** 5,000円
 - 非会員、かつ大会当日の**懇親会に参加をされる方** 14,000円
 - 非会員、かつ大会当日の**懇親会に参加をしない方** 10,000円
- 大会は対面形式にて実施します。

4. 自由研究発表要領等

口頭発表	ポスター発表
【主旨】 一定の結論が示せるもの（報告・提案含）	【主旨】 結論までは至らないがディスカッションによって研究が推進されるもの
【対象】 主に、 <u>教員・研究者・実務家</u> を想定	【対象】 主に、 <u>大学院生・初学者</u> を想定
【発表】 ① スライド8～10枚程度（時間内に収まること） ② 校閲あり ③ プログラム上に <u>演題・要旨</u> を掲載する ④ 発表10分、質疑応答5分(予定)	【発表】 ① A0用紙×1枚 or A3用紙×8枚 ② 校閲なし ③ プログラム上に <u>演題のみ</u> を掲載する ④ 発表時間60分程度 （ポスター前で説明の対応）



※ A3×8枚でA0サイズになります。
※ 10枚でもOKです

図. ポスター例

- 発表者がやむをえない理由により欠席する場合には、速やかに学会事務局（jsper@coep.jp）までメールでご連絡ください。なお、その場合、発表時間と発表の順番の繰り上げは行わず、司会者または座長の判断により、休憩または討議の時間に当てます。

5. 発表要旨集録

- 『発表要旨集録』は大会参加者の方を限定に、データで配布いたします。

6. 問合せ先

大会に関してご不明な点がございましたら、学会事務局までご連絡ください。

MAIL : jsper@coep.jp

シンポジウム

進化型実務化教員とは

【登壇者】

<シンポジスト> 松林康博 先生（名古屋産業大学） 市川大祐先生（岐阜協立大学）

<進行> 宮原知沙(コー・イノベーション大学(2026年4月開学予定))

<コメンテーター>今永典秀先生(名古屋産業大学、コー・イノベーション大学(ボンディングシップアドバイザー))

【登壇者プロフィール】

松林 康博 先生



愛知県岡崎市出身。新卒ではプログラマーとして就職、その後、食品通販のベンチャー企業へ転生駆使、エンジニアから人事へと異動。約数千人の採用選考に携わる一方で、人事考課、研修、社内制度の構築なども担う。

2013年4月に岡崎市でNPO法人コラボキャンパス三河を創設し、事務局長に就任。長期実践型インターンシップ・キャリア教育を領域とし、教育効果と企業の本業発展を両立するプログラム設計には定評があり、ビジネスの現場で数多くの学生が大人顔負けの事業成果を創出する。2016年2月 岐阜大学地域協学センター特任助教、2019年4月 名古屋経済大学准教授を経て、2022年4月 名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科准教授(現職)

現在は大学教員となり、マーケティング、地域ビジネス、インターンシップ等の科目を担当し、社会で活躍する人材輩出を行う。その経験を活かし、高等学校の探究型学習プログラム構築や学習評価の監修や助言も行うことが増えている。

専門分野：長期インターンシップ、PBL、アクティブラーニング、キャリア教育、マーケティング、人的資源管理、兼業・副業、地域連携・地域活性化

市川 大祐先生



大学院修了後、情報システム会社での勤務ののち、専門学校で情報分野に関するカリキュラム開発及びに学校運営に関与。DX人材の育成分野で起業経験を有し、その後、2022年4月より岐阜協立大学経営学部専任講師(現職)。

学生に対して、実務経験を活かして、情報技術・知識の前提知識が限りなく少ない学生に対しても、わかりやすく、かつ実践的な内容でのプログラミング教育を行い、ハッカソンへの参加やビジネスコンテストなどへ参加し、参加学生が入賞などを多数受けている。

2023年度：岐阜県DX推進コンソーシアム DX事例研究会委員

2023年度：JAIST産学官共創フォーラム デジタルナレッジツイン研究会、会員

2022年度～2023年度：中京テレビ 子供向けプログラミングスクール「codopo (コードポ)」 監修

2022年度～現在：学校法人滋慶コミュニケーションアート 名古屋デザイン&テクノロジー専門学校 教育課程編成委員会委員

など、社会貢献活動も多数行なっている。

専門分野：教育工学、プログラミング教育、DX推進など

司会進行：宮原知沙 = 一般社団法人CoIU設立基金 大学企画構想室

東海地域を拠点とするまちづくりコンサルタント会社で行政計画の策定や地域活動に携わる。2017年4月名城大学社会連携センターにコーディネーターとして着任。センターの立ち上げを行うと共に、学内外を繋ぎ、地域や企業とともに様々な連携事業を創出。現在は一般社団法人CoIU設立基金にて2026年4月開学をめざすCo-Innovation University（仮称。文科省設置認可申請中）の立ち上げに取り組むとともに、名古屋市が主催し、なごのキャンパスが共催する、Venture Café TokyoのコミュニティイベントNAGOYA CONNECT プログラムパートナー、株式会社On-Coと名古屋市の5年後の地域を担う人材を目指すアクセラレーションプログラムPOCUPスクールNAGOYAの運営に関わる。

【趣旨】

本シンポジウムでは、「進化型実務家教員とは」をテーマとします。社会を取り巻く環境、高等教育を取り巻く環境は急激な速度で変化・進化しています。その中で、大学の果たすべき役割、大学教員の果たすべき役割は進化を遂げています。

昨年度のシンポジウムでは、会場校の名古屋市立大学の鶴飼宏成先生に登壇いただき、「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」（文部科学省）として採択された「進化型実務家教員養成プログラム(TEEP）」（中核校：名古屋市立大学）について話題提供いただきました。

進化型実務家教員、実務家教員の分類などについては今後の課題事項ですが、その中でも、民間企業での実務経験を得て、大学の世界に30代で轉身し、その実務経験とその後の研鑽を重ねて、教育・研究・大学実務・社会貢献の観点でそれぞれ活躍する2名の話題提供を受けて、議論を深めていきたいと考えております。

自由研究発表（後日案内）

3つの会場での自由研究発表を予定（増えた場合は1会場増設は可）

発表は15分、質疑は5分を想定（申込者によって時間の変更可能性あり）

ポスター発表 (後日案内)

会場は3階演習室

マグネットを用意しますので、ポスターは印刷してお持ちください（複数枚でも、A0などで一枚でお持ちいただいても結構です）

分科会（後日案内）

分科会1. 大会校セッション1

「情報・経営系専門職大学の実務家教員による実務教育」

登壇者：平山敏弘教授(情報経営イノベーション専門職大学)、福田稔准教授（開志専門職大学）、
今永典秀准教授（名古屋産業大学）

実務家教員が概ね4割以上所属することが規定され、特定領域において実務教育が展開される「専門職大学」。専門職大学の中でも、情報・経営（起業）領域の専門職大学として完成年度を迎えた「情報経営イノベーション専門職大学」「開志専門職大学」「名古屋産業大学経営専門職学科」の3つの大学の実務家教員によるセッション。実務教育の特徴、実務家教員の果たす役割について考えます。



平山敏弘 プロフィール

・情報経営イノベーション専門職大学（iU）教授（実務家教員）

<https://www.i-u.ac.jp/academics/faculty/toshihirohirayama/>

・専修大学ネットワーク情報学部兼任講師

・（NPO）日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）幹事・教育部会 部会長

・（一社）日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会（JCIC）客員研究員

【略歴】

経済学部卒業後、日本アイ・ビー・エムに入社。UNIXを中心とした大規模分散システムのシステム設計・構築業務を多く経験。Webシステムや商用インターネットシステムを手がけた後、セキュリティ分野に転身し、アクセントゥアにてセキュリティプリンシパルディレクターとして勤務。一方、情報セキュリティやITキャリアパスなどに関する講義を複数の大学および大学院で非常勤講師として実施するなど、産学連携教育に関する活動を実施したのち、2020年4月よりiU教授に就任。

また、各省庁や団体での委員会活動を通じて、政策提言やIT・セキュリティ人材育成に関する活動を行っている。

【主な委員会・学会活動実績】

○経済産業省

- ・産業サイバーセキュリティ研究会 サイバーセキュリティ人材の育成促進に向けた検討会 委員
- ・デジタル時代の人材政策に関する検討会 有識者委員

○文部科学省

- ・工学分野における理工系人材育成の在り方に関する調査研究有識者委員会 委員

○独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

- ・国家資格情報処理安全確保支援士講習統括委員会 委員

○一般社団法人 情報処理学会

- ・情報学を専門とする学科対象の教育カリキュラム標準（J17）の策定WG有識者委員
- ・技術応用運営委員会 セミナー推進委員会 委員

【書籍】（単著）「自分ごとのサイバーセキュリティ～手口を理解し、対策を知ろう～」

【受賞】情報セキュリティ・リーダーシップ・アチーブメント（ISLA）・アジアンアワード受賞（2013年）



福田 稔 プロフィール

開志専門職大学事業創造学部 准教授（実務家教員）

<https://kaishi-pu.ac.jp/admissions/business/>

（一社）日本イノベーションマネジャー協会 代表理事

<http://jiman.or.jp/>

慶應義塾大学法学部法律学科卒業

法政大学大学院 政策創造研究科修了 修士（政策学）

新潟大学大学院 現代社会文化研究科 博士課程

広島県呉市出身。大学卒業後、中国電力(株)入社。

2001年 電力直営の創業支援施設「SOHO国泰寺倶楽部」の立上げと同時にインキュベーションマネジャー（IM）となり、全国のIMと出会う。2008年、同社を退職して、東京農工大学で大学発ベンチャー支援、新宿区立高田馬場創業支援センターの立上げ・施設長、

広島県よろず支援拠点コーディネーター、広島県創業サポーター、

を歴任し、多くの起業家、中小起業経営者や大学発ベンチャーのイノベーション支援に取り組む。

大学生に対するアントレプレナーシップ教育についても広島大学大学院 客員准教授、近畿大学 非常勤講師等を経て、2020年から開志専門職大学で実務家教員として臨地実務実習（長期インターンシップ）や会社設立実習（新規事業計画）、イノベーション系科目の授業と教職員の人材育成（FDSD）、大学-産業界エコシステム構築にあたる。

2016年（一社）日本イノベーションマネジャー協会設立、主宰する一般社団でイノベーションマネジャー®認定講座、自治体U I ターン創業相談・事業承継にも取り組んでいる。

（参考）

「起業家は社会の宝だ」（単著）、

「キャリア教育の射程」（共著）

「新規事業開発を考えている中小企業者のためのQ&A」（単著）

「17歳で知っておきたい必修ビジネスワード17」（共著）

今永 典秀 （後述参照）

分科会2. 研究委員会セッション（現在検討中）

分科会3. 大会校セッション2（現在検討中）

実行委員

実行委員長：今永典秀（名古屋産業大学）

副実行委員長：鶴飼宏成（名古屋市立大学）

実行委員：岩出朋子（リクルートワークス研究所）、野間透（名古屋産業大学）、松林康博（名古屋産業大学）

日本実務教育学会第5回大会プログラム

日本実務教育学会第5回大会実行委員会

発行者 日本実務教育学会第5回大会実行委員会

問合せ先 日本実務教育学会事務局

〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 313青山ビル6階
社会構想大学院大学社会構想研究科 富井久義研究室内
MAIL : jsper@coep.jp